



Art on a sunny day.

熊本在住の画家・松永健志の絵は、ほとんどがこの市営住宅のダイニングキッチンでうまれた。いまから8年前に、「絵で食べていく」と決めた。2013年に恋人の裕子さんと籍を入れ、初めて夫婦として暮らした市営住宅の家賃は、当時2万円。「ここに入居できることが決まったとき、これであと少し夢を追えると思った。このくらいの家賃だとわたしのパートでもまかなえるから、タケが働かなくても絵を描くことができる。よく“ずっとそばで支えてきて本当にえらいね”って言われるけど、本当にすごいのは、タケに絵を描く環境をあたえてくれたこの家なんだよ」。裕子さんはやさしく呟いた。愛しいものを愛おしく描く、いまの松永健志を確立した絵。初めて大きな美術賞を受賞したあの牛の親子の絵も、ロサンゼルスギャラリーでおひろめされたパンケーキの絵も、日常にやさしいプリントを合わせた靴も、花も、クリームソーダも。すべて、この小さな部屋から世に出たのだ。

ふと外に目をやると、この地域は、大規模再開発が続いているエリアだったと思い出した。すぐそばには大きな商業施設がオープンしたばかりだし、高層マンションを建てるクレーンが、窓の向こうでせわしく動き続ける。そんな外の景色とは一線を画し、ふたりがいるダイニングキッチンは、嵐のような時間が流れていた。部屋じゅうが絵で

覆いつくされた自宅は、まさにどこを切り取っても“絵になる”空間。「タケ、ごはんにしようか」。キッチンのほとんどを占めるダイニングテーブルのうえに、あつあつのホットサンドが置かれた。このテーブルのうえでふたりは、絵を描き、食事をし、日が色々な話をする。1日12時間。月曜から金曜日の朝から夜までずっと、ともにキャンパスにむかう。もちろん実際にパレットナイフをにぎるのは彼だけが、絵を描いている最中、裕子さんはずっとそばにいる。隣ではなしかけたり、時に歌をろずさんだり、「タケ、こっちのほうがいいんじゃない?」などにここことアドバイスを重ねながら、たぶん一緒に「描いて」いる。

決して雄弁ではない画家は、絵のことを話るときだけはすこし饒舌になった。「この絵は、油絵具をぼてぼてと何層も塗り重ねて一気に仕上げていくやりかたなんだけど、“アラブリマ”っていう技法に近いらしい。無自覚でこの描き方に行き着いた。キャンパスのぼこっとした表面も表情があって、近くでみたらかわいいよね」。描く静物はほとんどが原寸大。いわゆる重厚感あるタッチの油絵とはひと味違い、一人ひとりの幸福な記憶が蘇ってきそうな絵が特徴だ。「こんな風にかわいくて、あかるくて、スッキリした絵が浸透するといいな」。

ふたりは、いま、2年半ぶりに開催される個展の準備真っただ中。会場となる長崎書店から、初

なる原画付き画集「WHITE」を出版することも決まっている。地元のアートディレクター・フォトグラファーとタッグを組んでつくる作品は200ページを超える大作になりそうで、期待が高まる。「画集なんて、画家が一生のうち一度出せるかどうか。本当に光栄なこと」。絵で食べていけるようになったいまも、毎日絵を描けることが当たり前だとは思っていない。だから、この夢から覚めないように、ひとつひとつ、あたらしい夢を塗り足してゆくのだろう。前回の個展から日があいたのは、その間描きためた200点と画集につける1000点、計1200点の絵を毎日描き続けてきたためだ。2019年初夏に開催された個展「sunny day」では、そのほとんどが即日完売。画家・松永健志の絵を求めて多くのお客さんが列をなした。「画家の絵を買いにまちの本屋に行く」。そんな贅沢なことがこの熊本で実現したこと。リビングや、キッチンや、寝室。絵を買ったお客さんの家のあちこちで、松永健志の絵がまっすぐにひかっている。その奇跡のような、豊かさを思わずにはいられない。

いつも柔らかな髪型の画家は、キャンパスに向かって時、瞬間的に目をカット見開く。その理由を尋ねると、「こんな風に描いたらいいんだよ」と対象物が教えてくれるんだそうだ。見えないうちに眼をこらし、聞こえない声に耳をこらしながら、やわらかくも濃い時を、この家で刻んでいる。



Like a Utopia

家がぼくらをここまで連れてきてくれた。

2019年初夏、大盛況のうちに幕をとじた個展「sunny day」から約2年。その間描きためた新作を発表する個展を秋に控えた画家・松永健志の自宅を訪ねた。絵を愛し、芸術を愛し、人を愛すふたりが、病める時も健やかなる時も夢を塗り重ねてきた、2DKの家の暮らしの記憶。

松永 健志・裕子
1985年生まれ、熊本在住の画家とその妻。2018年熊本美術公募「描く力2018」グランプリ受賞。2020年アメリカ・ロサンゼルスギャラリーにて「KUMAMOTO Letters」を開催。2021年4月にはアパレルブランド「nico and ...」とのコラボレーションも話題に。10月27日～11月30日、長崎書店・長崎次郎書店にて2年半ぶりの個展を開催、初の画集「WHITE」も発売される。